

# 平成30年度施政方針に対する各会派の質疑 (日曜議会)

※原稿は市長の答弁も含めて各議員が作成しています。

## 小金井市議会 公明党

**紀** 「子育て環境日本一」の実現は可能なのか。(ア)全力で取り組むとあるが、何を以て「日本一」なのか。その実現のため具体的な施策を示すべき。(イ)待機児童の解消は可能なのか。

**市長** (ア)小金井市で子どもを育ててみたいと多くの方から思われるまちを目指す。(イ)現状、320人の定員増を行うが解消は厳しい。

**渡辺(公)** 小金井市は、子育て環境日本一と同時に、「幸齢社会日本一」を目指すべき。市行政と地域包括支援センター、社会福祉協議会が連携し、(仮称)新福祉会館を「健康長寿」の中心拠点として整備していくべきではないか。

**市長** 新福祉会館は、地域住民や様々な関係団体との連携、協働により、高齢者や全ての市民がいきいきと集える拠点としたい。

## 小金井市議会 民進党

**鈴木** (ア)積年の課題解消のために行った市長の取組を問う。(イ)今後選ばれるまちであるために、市長が描く今後の展望は。

**市長** (ア)庁舎問題の解決に向け、新庁舎も新福祉会館も平成33年度までの竣工を目指し、平成30年度に設計段階に入ることを目標とし、現在、その環境整備に取り組んでいる。市長就任以降の保育課関係経費は、人件費を除き、平成27年度との比較で、21億6千万円増加した。しかし、待機児童解消は今後も継続的に取り組む課題。保育士不足の対応として、処遇改善や宿舍借上げ支援を含む民間保育所補助などは、人材の確保だけでなく、定着にもつながる。(イ)行財政改革の目的は市民サービスの向上である。今後、人口と税収が減少しても、市民サービスを向上させ、選ばれるまちであり続ける自治体経

## 自由民主党・ 信頼の小金井

**小林** 本市の公共施設の更新費用の推計は、今後35年間で総額1千500億円。総合的・計画的な見直しには、強いリーダーシップと「決断」が求められる。施設の6割を占める学校関連施設の在り方を、早急に検討するべき。

**市長** 舵取りは自身に信託されているが、強行的に進められない。学校の長寿命化に要する財源見通しについても早急に示したい。

**宮下** 市長は、市に3つの重要な課題があると表明する一方、就任後の2年間、解決へ向けた具体的決断内容を示していない。決断の身を明らかにすべき。

**市長** 新庁舎は、未来に引き継げる施設を市民や議会と一緒につくりたい。新福祉会館は、今定例会にて最終的な基本計画を示す。清掃関連施設は、市議会へ計画案を示してあり、共有されたい。

## 自由民主党・ 信頼の小金井

**湯沢** 子育て環境日本一を目指すというが、23区は中学3年まで医療費が無料、多摩地域でも子どもの医療費助成の拡充が広がっている。子育て世帯が最も注目する施策の1つで遅れているから日本一を口にするのは疑問。戦略がなければ単なるスローガンでは。

**市長** 医療費助成は財政状況や他の子育て支援策との兼ね合いで考える。直ちに対応するのは困難。

**遠藤** (ア)学校教育について、いじめ対策で道徳教育が教科化され、対応と自尊感情の向上は。(イ)健康長寿・ささえ愛の小金井について、自宅介護への支援は。(ウ)商工会との連携及び推進は。

**市長** (ア)「勇気と希望がわいてくる魔法の言葉集」を作成し、教育委員会と連携し、努力していく。(イ)介護者手帳を配布し、負担の軽減を図る。(ウ)連携をしていく。

## 緑・市民自治 こがねい

**片山** (ア)パブリックコメントを検討する十分な時間を。(イ)市民を分断する都市計画道路は要らないという態度を。(ウ)困っている人をそのままにしない市役所に。(エ)原発事故被害者への住宅支援を。

**市長** (ア)大切な意見として継続して受け止める。(イ)今後も意見交換会や説明会の状況に注視する。(ウ)住民福祉の向上を大切にしている。(エ)空き家活用の中で検討。

**坂井** (ア)厳しい決断を下したとは何か。(イ)学校教育における生き力を育む教育の実践とある。市長の考える生きる力とは。(ウ)差別解消に向けた更なる取組は。

**市長** (ア)特に、新庁舎や(仮称)新福祉会館建設、行財政改革2020の策定。(イ)確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の智・徳・体をバランスよく育てる事。(ウ)職員研修を再開し、理解促進を図る。

## 情報公開こがねい

**渡辺(大)** なぜ年度当初の予算に新庁舎の基本設計及び新福祉会館の基本設計の予算が計上されていないのか。年度の中で設計に入ると言明しながら、1円も計上していないのは理解に苦しむ。

**市長** 本来は当初予算で審査をお願いすべきだが、適切な時期に補正予算として提案すべく、現在、準備をしている。平成33年度竣工目標は変わらない。

## 改革連合

**篠原** 団塊の世代が75歳を超える2025年には疾病、介護等により社会保障費の増加が見込まれる。人口減、少子高齢化等で財政面でも大変なことになる。大きい予算を投入してでも市民に市の将来を考えて健康な生活を送ることを啓蒙し、協力をいただく中期的、長期的施政方針を示してほしい。

**市長** 中長期的な視点も重要で同感である。

## 生活者 ネットワーク

**田頭** (ア)最もとるべき平和に向けた行動とは。(イ)平和憲法を守るのか。(ウ)障害のある人もない人も共に学び共に生きる条例は誰のためか。パブリックコメントを検討する際の市長指示は。

**市長** (ア)対話重視の外交。(イ)平和の大切さを継承する責任が市長にある。(ウ)全ての市民のため。丁寧にお応えしていく必要があると担当に伝えた。

## 小金井の 明日をつくる会

**沖浦** 西岡市政の2年間で議員の立場とそうでない立場で見えてきた。積み残された重責を取り除いた反面、思いどおりではない部分もあったと思う。決断への思いは。

**市長** 行財政改革を成し遂げながら、市民サービスを向上を目指し、持続可能な財政運営をしていくためには、将来の小金井市にとって最良の選択は何かという視点を大切に全庁一丸で決断していく。

## こがねい市民会議

**斎藤** 「誇りの持てる小金井」「そのためには財政健全化」、その対策として「収納率の改善」「アウトソーシング、受益者負担の基準見直し」とある。歳入増のための解決策がない。市民への負担や利用料の値上げで解決するのか。

**市長** 駅周辺のまちづくりなどにより、税収確保を掲げている。値上げだけでなく、古くなった受益者負担の基準を見直す。

**日本共産党  
小金井市議団**

**たゆ** (ア)北朝鮮問題の解決は平和的な対話しかないのではないか。(イ)憲法第9条改憲は、危険な戦争への道。どう考えるのか。(ウ)生活保護、医療、介護などの社会保障切下げについてどう考えるのか。

**市長** (ア)対話が大切である。(イ)

## 板倉

戦争放棄の精神はこれからも守っていくべき。(ウ)社会保障制度の持続可能性を追求し、地域共生社会を目指していく。

**市長** 経済的な不安を抱える市民に対して、保育料値上げを3年連続で強行、就学援助基準の連続引き下げ、がん検診の更なる有料化、国保税・介護保険料の値上げを行おうとしている。市民生活応援の施策を進めるための具体的な方策を示してほしい。

**市長** 受益者負担の原則の適正化を図り、市民サービスを向上を図ることは課題である。

**水上** 行革プランは、住民サービスと住民福祉向上の真の行革とされているが、内容は市民への負担増、犠牲が押し付けられている。これでなぜ住民福祉向上なのか。

## 森戸

実態が伴わない市長の対話の姿勢について問う。清掃関連施設整備計画では一方の協議会が反対する中、パブリックコメントを強行。新福祉会館の市民検討委員会も不消化との声がある。障がい者差別解消条例も自立支援協議会の意向が十分反映されず、市によって変更された。アライバイづくりの市民参加はやめようという公約はどうしたのか。

**市長** 市民の声を大切にする姿勢は守る。



## 小金井を おもしろくすべし

**白井** ハーズバークの動機付け衛生理論にあるように、働く満足度は仕事そのものでしか得ることができない。職員一人一人のキャリア形成支援とマネジメントの仕組み作りを検討しないか。

**市長** 長期間、市役所で働き続けるモチベーションの向上につなげ、能力を最大限発揮してもらいたい。いただいた提言・考え方については、是非今後の参考にする。